

## 兵庫県消防防災航空隊の沿革

時 期	内 容
昭和55年 7月 8日	○ 防災ヘリコプター「ひょうご」ベル式222型が配備され、兵庫県警察航空隊に運航管理を委託する。
昭和63年10月13日	○ 防災ヘリコプター「ひょうご」川崎式BK117A-4に更新する。
平成元年 7月14日	○ 機体を川崎式BK117B-1型に型式変更する。
平成 8年 7月30日	○ 機体を川崎式BK117B-2型に型式変更する。
平成 8年 9月 1日	○ 県下 8 消防本部から派遣された 8 名に、兵庫県知事公室消防課の併任辞令が交付される。
平成 8年 9月 2日	○ 神戸市消防機動隊のもと、9月20日まで発隊前の研修指導を受ける。
平成 8年 9月24日	○ 大阪国際空港ターミナル仮事務所において発隊準備を開始する。(兵庫県警察航空隊において訓練を実施する)
平成 8年10月21日	○ 兵庫県消防防災航空隊発隊
平成 9年 4月 1日	○ 機構改革により、兵庫県知事公室消防防災課から兵庫県知事公室消防課に所属移動される。
平成12年 4月 1日	○ 機構改革により、兵庫県知事公室消防課から兵庫県企画管理部防災局消防課に所属移動される。
平成16年 4月 1日	○ 兵庫県及び神戸市が所有する 3 機の消防（防災）ヘリコプターの共同運航を開始する。 これに伴い、兵庫県消防防災航空隊事務所を大阪国際空港から神戸ヘリポートに移転する。
平成16年 8月 1日	○ 常時 2 機稼動体制の本格運航を開始する。
平成18年 3月30日	○ 兵庫県所有機体を川崎式BK117C-2型に更新整備する。
平成19年 3月16日	○ 神戸市所有機体を川崎式BK117C-2型に更新整備する。
平成27年 1月15日	○ 共同運航 3 機目の機体（神戸市所有）を川崎式BK117C-2型に更新整備する（購入費用は県・市折半）。
平成30年 4月20日	○ 神戸ヘリポートの閉鎖に伴い、兵庫県消防防災航空隊庁舎を神戸空港に移転する。